

# 北海道における高規格幹線道路の主なストック効果

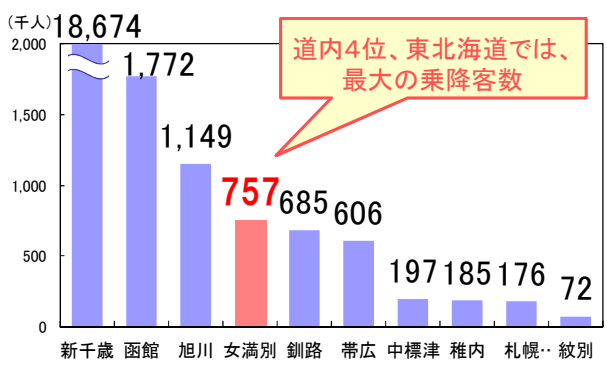
平成30年2月9日

国土交通省 北海道開発局

# 1) 女満別空港へのミッシングリンク解消によるストック効果

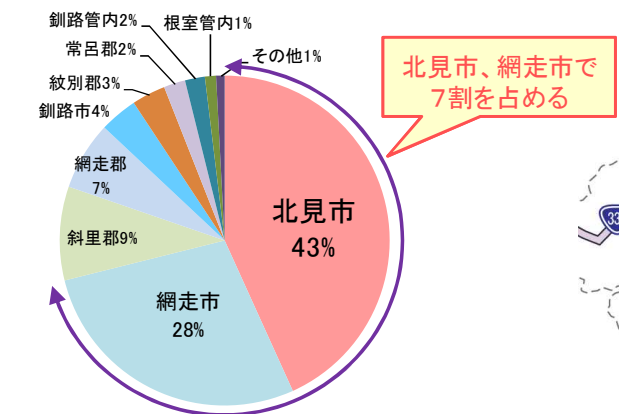
- 女満別空港の乗降客数は、757千人と道内で4番目、東北北海道では最も多い。
- 乗降客の出発地や目的地をみると北見市、網走市で全体の7割を占める。
- 北網地域の高規格道路整備の進捗により、女満別空港へのアクセスは向上しており、端野～高野間が整備されれば、オホーツク管内の人口の5割が女満別空港30分圏にカバーされる。

▼道内の空港別乗降客数(H27)



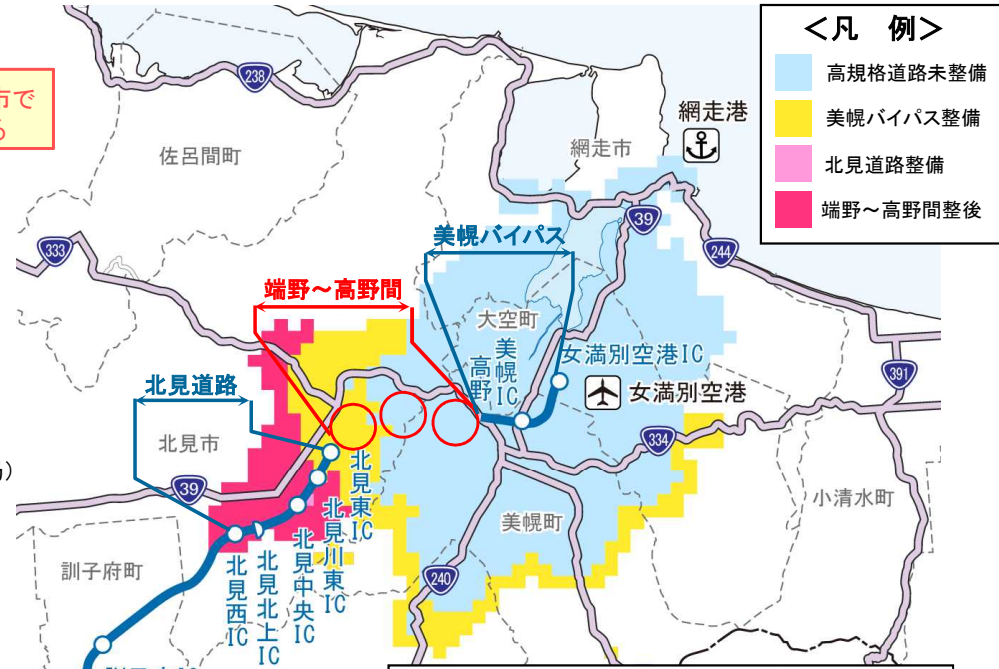
資料:平成27年暦年・年度別空港管理状況調査(国土交通省)  
女満別空港HP、オホーツク総合振興局網走建設管理部

▼女満別空港の乗降客数の出発地・目的地



資料:平成27年度航空旅客動態調査(国土交通省航空局)  
注:乗降地不明は母数に含まず

▼女満別空港30分カバー圏

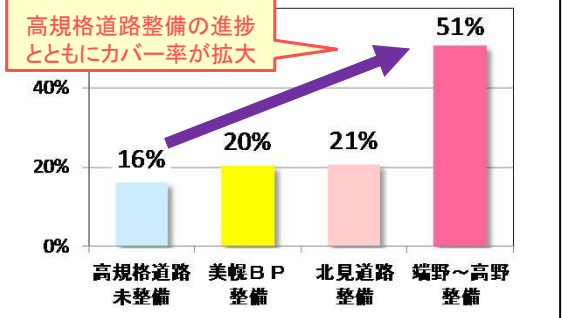


- <凡例>
- 高規格道路未整備
  - 美幌バイパス整備
  - 北見道路整備
  - 端野～高野間整備

▼地域の声 (第1回地域意見聴取結果より抜粋)

- ・北見道路の開通後、北見工業団地が完売。道路整備は産業面で期待が大きい。(北見市)
- ・出張医師の送迎のために北見赤十字病院～女満別空港間を毎週利用。多いときは3～4回/日往復しており、時間短縮が図られれば、より手術や診断時間の確保が可能となる。(北見赤十字病院)
- ・女満別空港まで臓器の救急搬送を行った。臓器提供にあたっては一刻も早く輸送する必要がある。(北見赤十字病院)

▼女満別空港30分圏オホーツク人口カバー率



資料:平成27年度国勢調査  
注:オホーツク管内の人口を母数とした場合

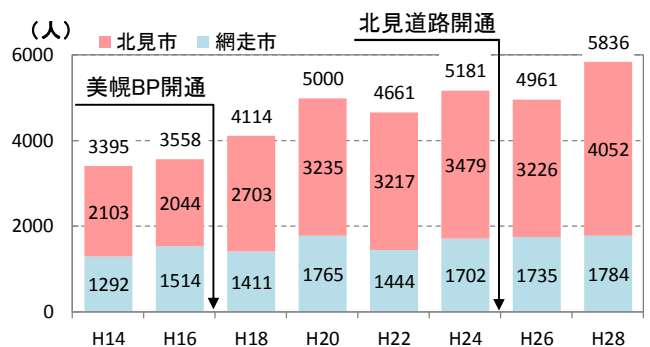
## 2) スポーツによる地域連携・地域活性化を支援

- オホーツクでは、東京オリンピック・パラリンピック開催決定を契機に、スポーツ合宿を通じた地域活性化を図ることを目的として管内市町村等で「オホーツク・スポーツ合宿誘致に係る地域連携協議会」を設立。
- 北見市・網走市はスポーツ合宿の誘致に積極的に取り組んでおり、合宿参加人数は年々増加。
- 端野～高野間の整備によりスポーツ施設間の移動時間が短縮し、地域連携や地域活性化に寄与。

### ▼スポーツ合宿等の取り組み状況

- 管内市町村等で「オホーツク・スポーツ合宿誘致に係る地域連携協議会」を設立 (H26.5)
- 網走市が東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンに登録 (H28.1)
- 7人制ラグビー日本代表候補が網走市でリオオリンピックの事前合宿を実施 (H28.6)
- 地域連携協議会主催で北見市で7人制ラグビー大会がオホーツク初開 (H28.7)
- 網走市、北見市がラグビーワールドカップ2019の公認キャンプ地として申請 (H28.8)
- スポーツ庁の地域活性化事例集に網走市のラグビー合宿が選考 (H29.4)
- 7人制ラグビー女子日本代表が網走市で強化合宿を実施 (H29.8)

### ▼スポーツ合宿参加人数(道内外)推移



資料:北見市、網走市

### ▼道外からのスポーツ合宿ランキング (H27年度)

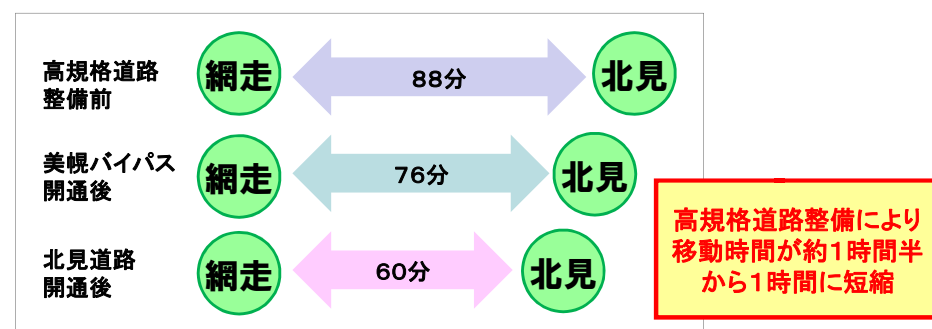
順位	スポーツ合宿ランキング		
	件数	参加実人数	参加延べ人数
1	士別市	網走市	紋別市
2	東川町	北見市	網走市
3	上士幌町	苫小牧市	北見市
4	苫小牧市	士別市	士別市
5	網走市	釧路市	苫小牧市
6	北見市	旭川市	釧路市
7	美瑛町	東川町	東川町
8	釧路市	紋別市	美瑛町
9	名寄市	遠軽町	遠軽町
10	旭川市	美瑛町	深川市

資料:北海道 環境生活部HP

### ▼北見市、網走市のスポーツ施設とラグビー合宿



### ▼網走トレーニングフィールド～モイワスポーツワールド(北見市)の所要時間



資料:平成27年道路交通センサス(国土交通省)

### 声 ■北見市・網走市

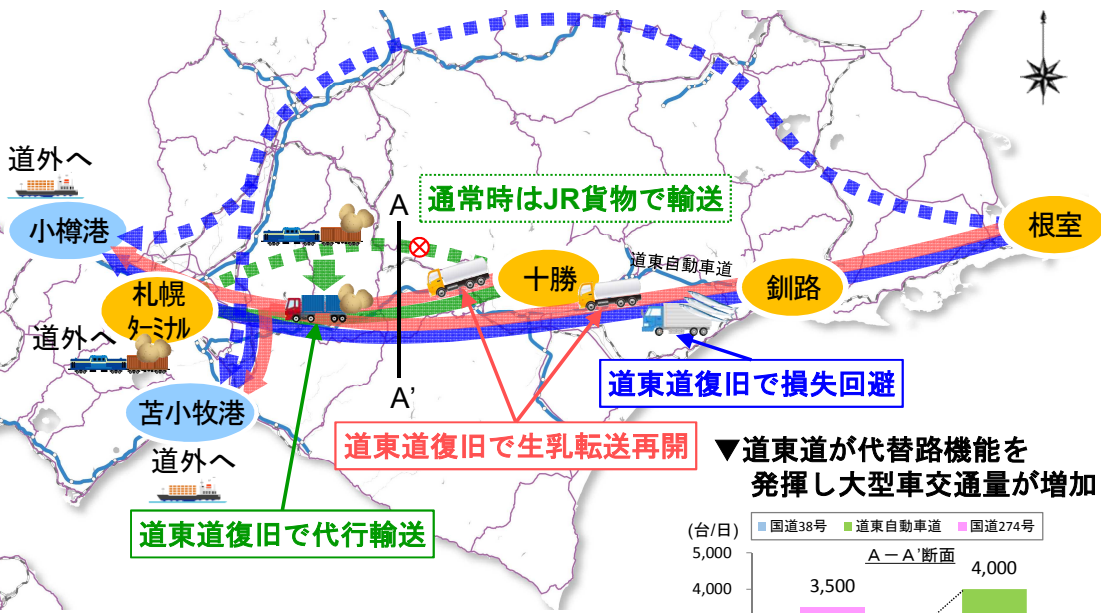
- 「世界一」の網走の芝でトップリーグの選手や日本代表を迎え入れており、今後もしっかりとサポートして行きたいです。
- 北見市・網走市間での練習試合の行き来が多く、時間短縮により選手の移動によるストレスが軽減されるため端野高野間整備にも期待しています。
- 選手を空港・ホテル・練習場にバスで送迎しているため、事故には特に気を付けています。プロ選手は体が資本なので安全な道路が必要です。



# 3) 台風災害時に高規格道路が果たした役割

- 被災後は道央と道東を結ぶ鉄道が不通、道路が通行止めとなったが、道東自動車道の迅速な復旧により、道央と道東を結ぶ唯一の輸送ルートを確認
- 国内シェア4割の十勝産じゃがいもや、大阪においてシェア8割の道東産さんまなど、我が国の食を支える北海道の農水畜産物が、道東道の迅速な復旧により、全国への輸送が可能となり、損失を回避
- 道東自動車道の迅速な復旧により、観光バスの通常運行をいち早く再開し、ツアーキャンセルなどによるさらなる影響を回避

## ▼北海道産農水畜産物の輸送ルートを確認



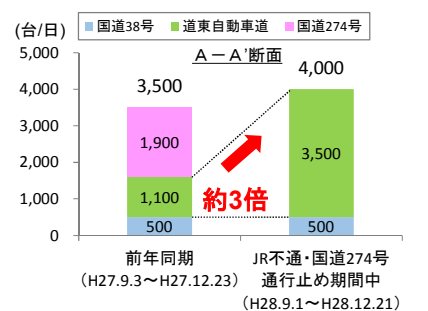
**不通・通行止め期間**  
 <JR>  
 平成28年 8月31日(被災直後)～平成28年12月21日(約4ヶ月間)

<道東道>  
 平成28年 8月30日(被災直後)～平成28年 9月 1日(約2日間)

**農水産物の輸送ルート**

- じゃがいも (通常時)
- じゃがいも (道東道復旧時)
- さんま (道東道通行止め時)
- さんま (道東道復旧時)
- 生乳 (道東道復旧時)

## ▼道東道が代替路機能を発揮し大型車交通量が増加

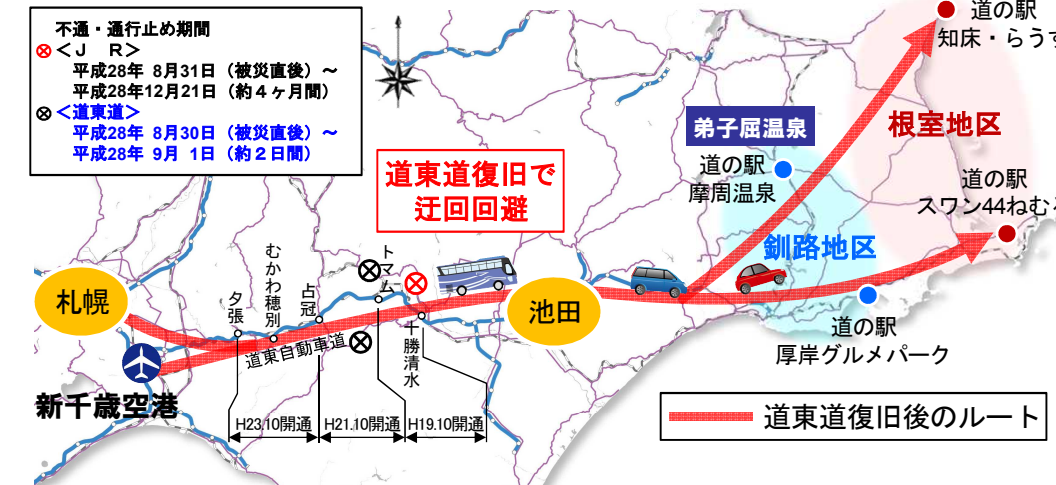


資料: 国道は北海道開発局、道東自動車道はNEXCO東日本調べ

・普段は、JR貨物でじゃがいもを輸送していますが、台風後、道東自動車道がいち早く開通し、JR貨物の 代行輸送がスタートしたため、出荷ができました。  
 ・道東方面からの生乳転送が8月31日から2日間止まりましたが、道東自動車道の通行止めが迅速に解消されたことで、生乳転送を再開することができました。

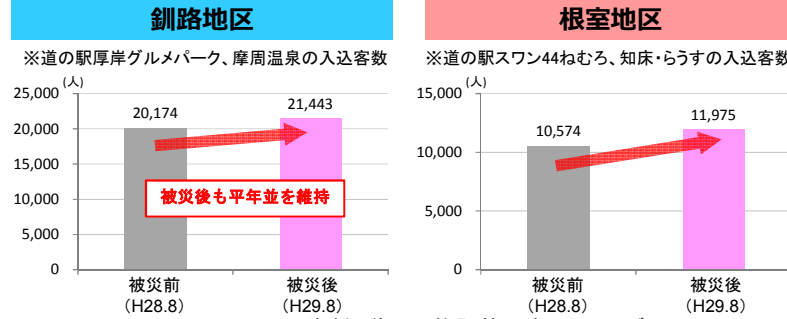


## ▼東地域の観光入込、観光ツアーへの影響を最小限に



**【大手旅行会社の事例】**  
 【被災直後】  
 ツアールート変更 (1～2時間到着遅延)  
 【道東道復旧後】  
 早期に通常運行を再開 影響を最小限に

## ▼道東地域のお盆の観光入込客総数の変化 (H28-H29)



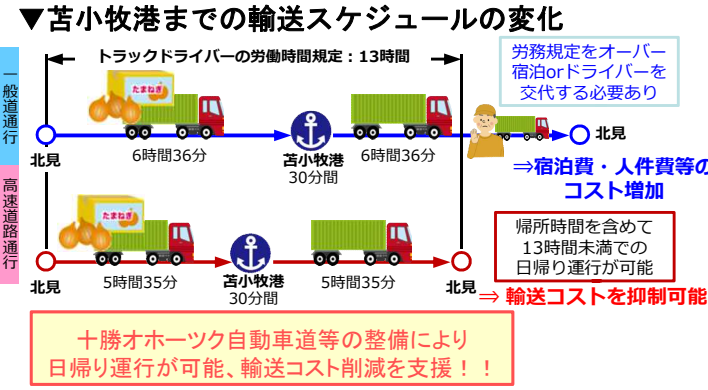
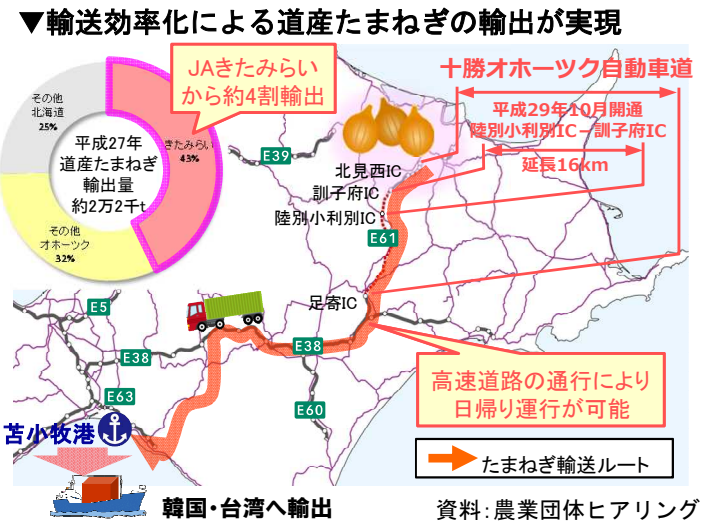
資料: 道の駅施設管理者ヒアリング  
 ※H28.8.13(土)～8.16(火)、H29.8.13(日)～8.16(水)の合計値

・台風発生時は、入込客数が例年の平均値を下回りましたが、道東道通行止め解除後は例年と変わらない状況となり、高速道路の迅速な復旧により、影響が最小限に抑えられたと考えます。



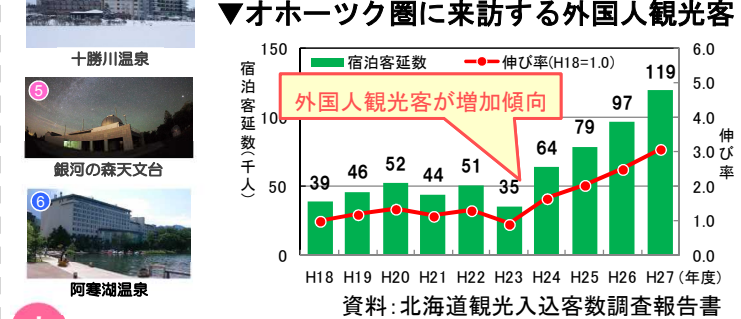
# 4) オホーツク圏・十勝圏ミッシングリンク解消によるストック効果

- 高規格幹線道路を活用することで日帰り運行が可能となり、輸送コスト削減や安定的な農産物の輸出を実現。
- 新たな観光ニーズにより多様化する観光ルートを形成し、十勝圏とオホーツク圏を結ぶ観光の活性化に寄与。
- 陸別町から北見市への通院・搬送時間が短縮され、地域医療体制確保に寄与。



**声** ■道内農産物輸出事業者

- 近年はドライバーの労働時間厳格化により、労務規定時間をオーバーすると宿泊やドライバー2人体制となり、高速道路を利用しないと労務規定時間内に輸送ができない状況です。



**声** ■観光バスツアー担当

- 十勝川温泉と網走湖畔温泉を結ぶツアーでは、従来の阿寒経由の観光ルートに加え、陸別や北見市内を経由する観光ルートが企画されるなど観光ニーズが多様化しています。

